

悪魔に花を。



お前の兄は
悪魔にも
人間にも
成れない
孤独な生き物だ

こんにちは
おこじよと申します

本をお手に取っていただき
誠にありがとうございます

この本は成人向けの内容となっております
性的な描写がありますのでご注意ください

捏造設定など含まれてます

前作の「僕らのいどころ」の続きとなつて
いますので、なるべくならそちらを
読んだ後こちらを読んで下さると
嬉しいですよ

前回のあらすじ

何としてでも
守り抜くと

杜山しえみの母の使いで奥村雪男は
リュウ・セイリュウの所に訪れる。

そこでリュウから昔友だった悪魔を
自らの手で祓ったことを聞かされる。

雪男は悪魔と人間の不条理な関係に

サタンと人間の混血である兄奥村燐の問題と重ね合わせ
悪魔との対峙に苛立ちや不満、

割り切れない気持ちを感じた。

最後にリュウが「興味があるならまた来い、

いつでも歓迎するぞ」と言つて雪男を誘った。

話し合いは少しの間だったが、

リュウと雪男の距離が近づいたようだった。

そう決めたんです

兄弟の
運命に縛られて
足掻いてるその目は

とて
も
遠く
へ
と
い
く
と
い
ふ
は
ど
う
い
ふ
か
い
は
ど
う
い
ふ
か
い

まあ
可愛い

賢そうな
お顔をして
らっしゃる

将来が
楽しみですな

成龍

立派な
祓魔師に
なれよ



はい

父上

何度言え
ば
わ
か
る
ん
だ
!

動
き
が
全
然
な
っ
と
ら
ん
!

こ
の
馬
鹿
者
が
!





かまうな!



成龍様
大丈夫で
ござい
ますか?

長は
成龍様に少々
厳しいようで
…



このくらい
平気心配
かけたね

川辺に行って
少し頭を
冷やして来るよ



!

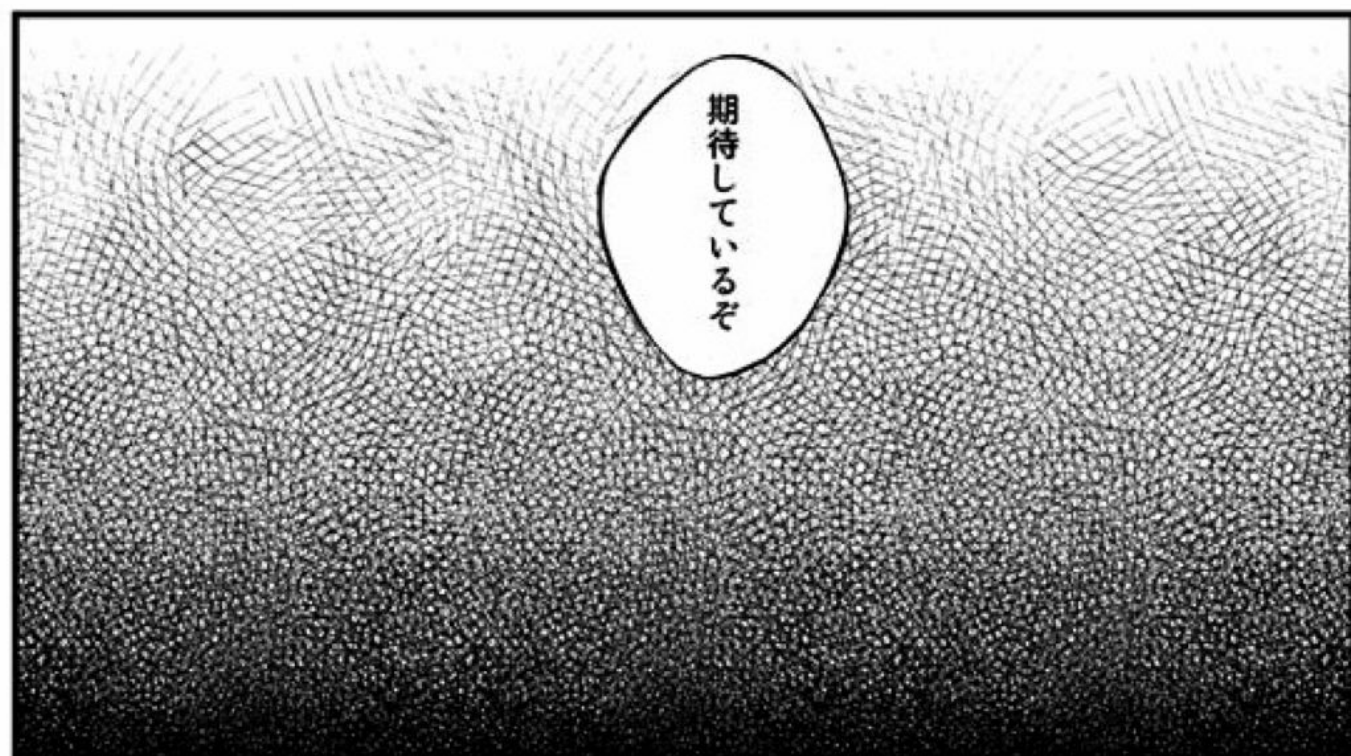


成龍様…













そうだ
御礼に
美味しいもの
あげるよ！

なんで？

え？

なんで
弾かれるの？

なんで
敷地に
入れなの？

何事だ！
結界に反応が
あったぞ！

成龍様
それは…

そやつが手に
しているモノは
悪魔じゃ

劉家の男が

長!!!

おお
なんと情けない

!!

成龍よ
そやつは
悪魔だ

お前は
悪魔に憑り
つかれておる

被魔師として
あつては
ならないことだ
自分の過ちは
自分で始末しなさい

こいつは
トモダチ…
なんです…

そそんな
でもこいつは…!!

笑わせるな!!!

悪魔と友に
なとなれん!!!

でもでも…!!

成龍よ
昔話をしよう…



そんな
お前は
俺のこと
騙してたの？

にゃあ

傷を癒し
てくれた

メル

一緒に遊んだ

全部嘘だっ
たって
いうのか!?

被魔師を
目指してる俺が
悪魔と仲良く
してたなんて

クソ!

クソ!

畜生!

畜生!

恥ずかしい!

悔しい!

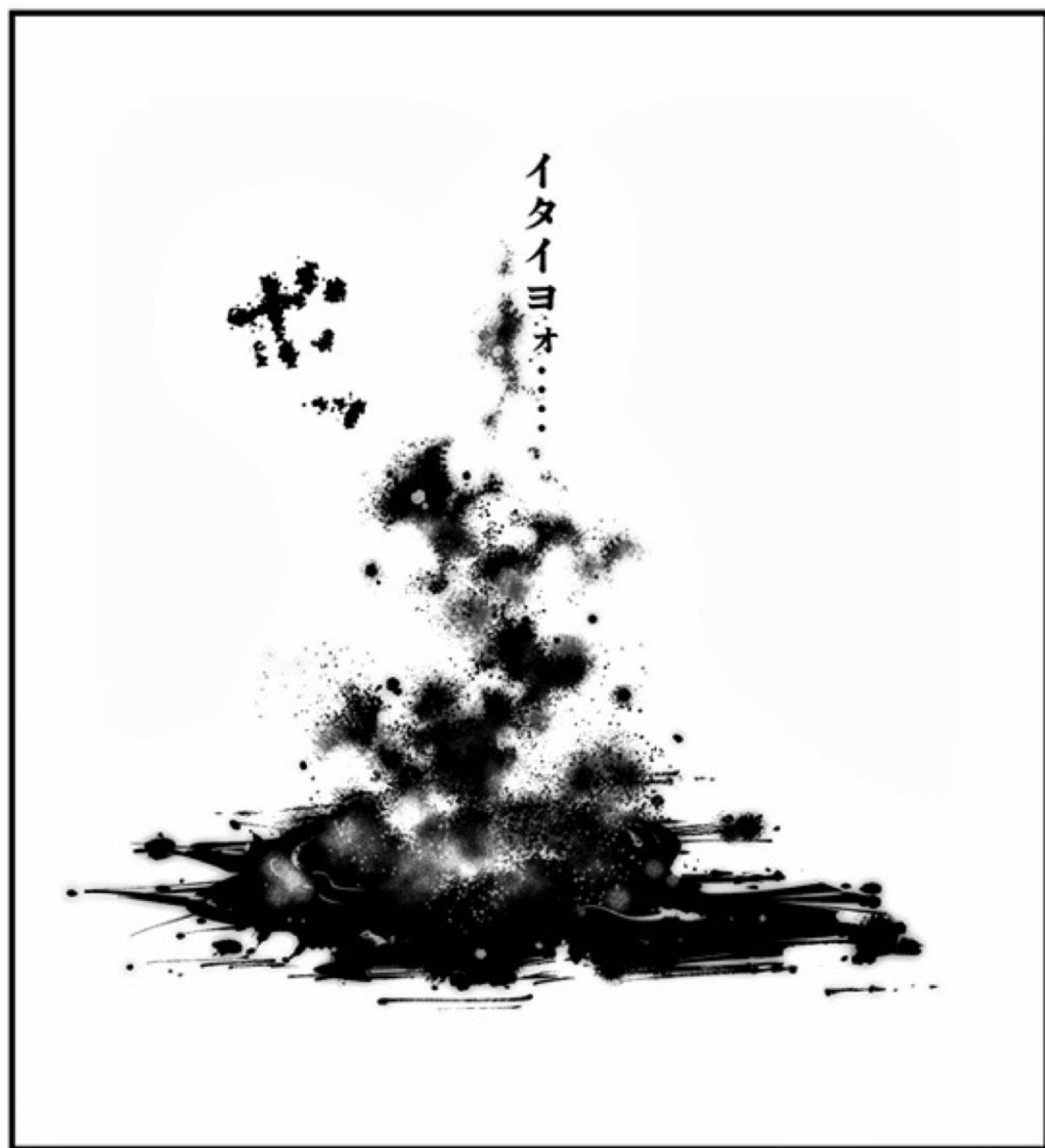
許さない!

みっともない!

許せない!



















※しえみの母から鍵を借りて台湾に移動してる

雪ちゃんが一
緒に来てく
れると安心
するよ

いえ突然僕も同行
するだなんて
押しつけが
ましかった
かなって

ううん
此処に来るの
初めてだから
雪ちゃんが
居ると心強
いよ！ありが
とう

お待ちして
おりました

此方へ
どうぞ

ついしえみさん
を出しに使う
でしまった

ドキ

ドキ...

品の用意が
出来るまで
暫くここで
お待ちください

はい！
あの！
突然来て
すみません

いいんですよ
祓魔用品店様とは
長いお付き
合いですから

言われた品なら
すぐにご用意
できます
と思います

ハ
タ





あれ？しえみさん
知らなかった
んですか？

ここ劉さんの
御実家なんだよ

えー！

資源が豊富でな
ここのでしか
手に入らない
材料を素に
被魔師の仕事と一緒に
被魔用の薬も
取り扱ってるんだ

ふええ
知らなかった

が
あ

そうだっ
たんだ

もうお母さん
ちゃんと
教えてくれない
から恥かいたよう
もう

失礼します





雪ちゃん
ちよっと
行ってくるね



あ
はい!

杜山様
品の確認をして
頂きたいので
こちらへ来て
いただけますか?



お前

野暮ったい
だなんて...

初めて
見たときは
野暮ったそうнад
と思ったが
良くみると
なかなか
可愛い
じゃないか

はは



そっそ
そんなんじゃ
ありませんよ!

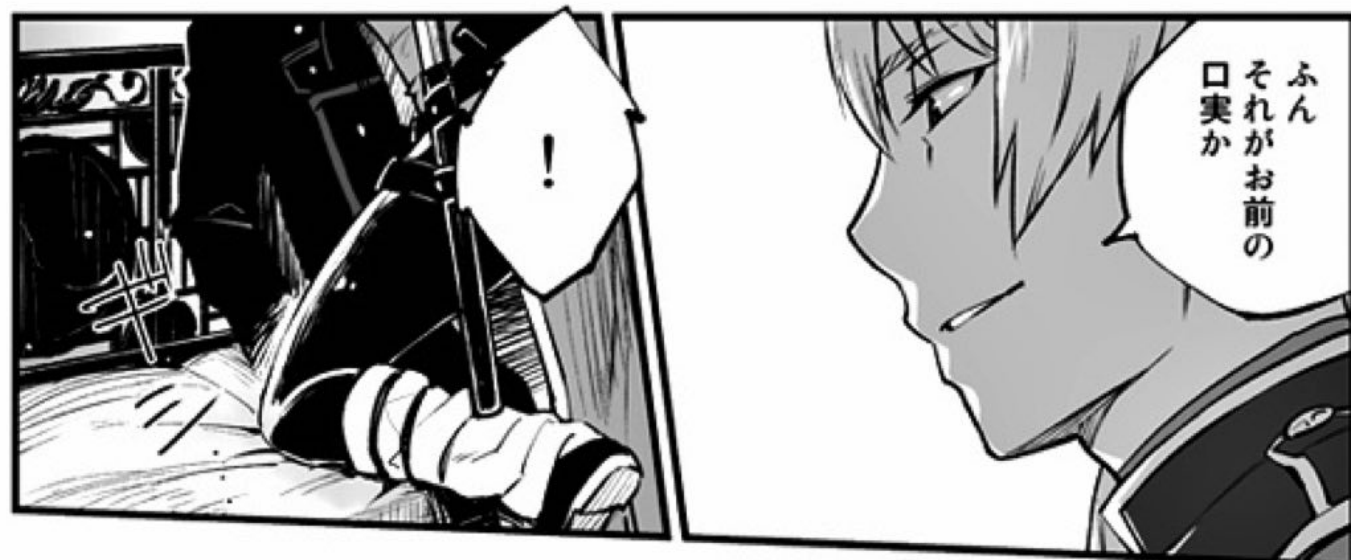
なっ
何言っ
てるん
ですか!



アレと
付き合っ
てるのか?



















あの
雪ちゃん
が…

成龍様と
お話があるそうで
先に帰宅
なさるよう
お伝えして
くださいと
伺っております

はあ…
そう
ですか…

お話ってなんだろう？
でも こっちも
急いでるし…

いいじゃなか
久々の再会
なんだから

もう少し
楽しんでけよ

こんな事して
いいと
思ってる
んですか？

お互い
合意の上なら
問題あるまい

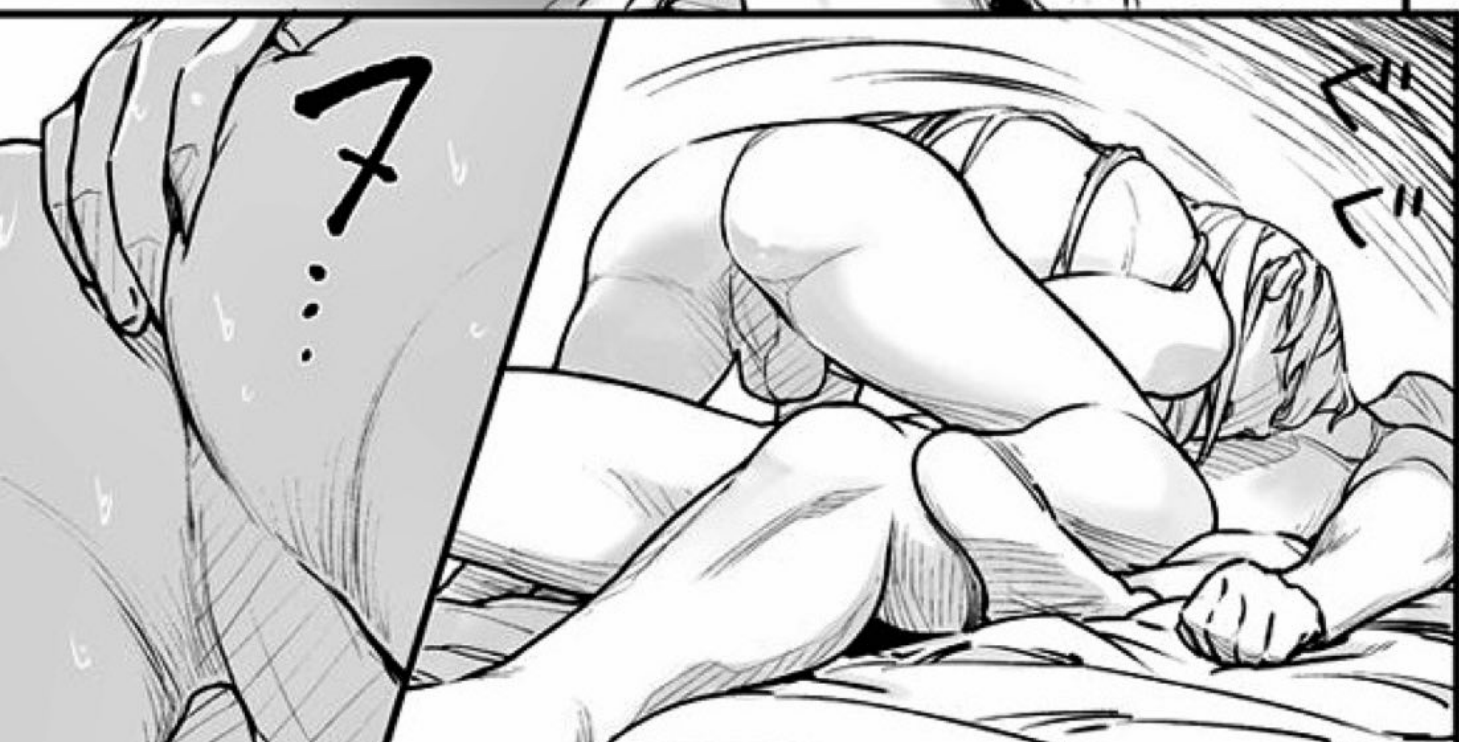
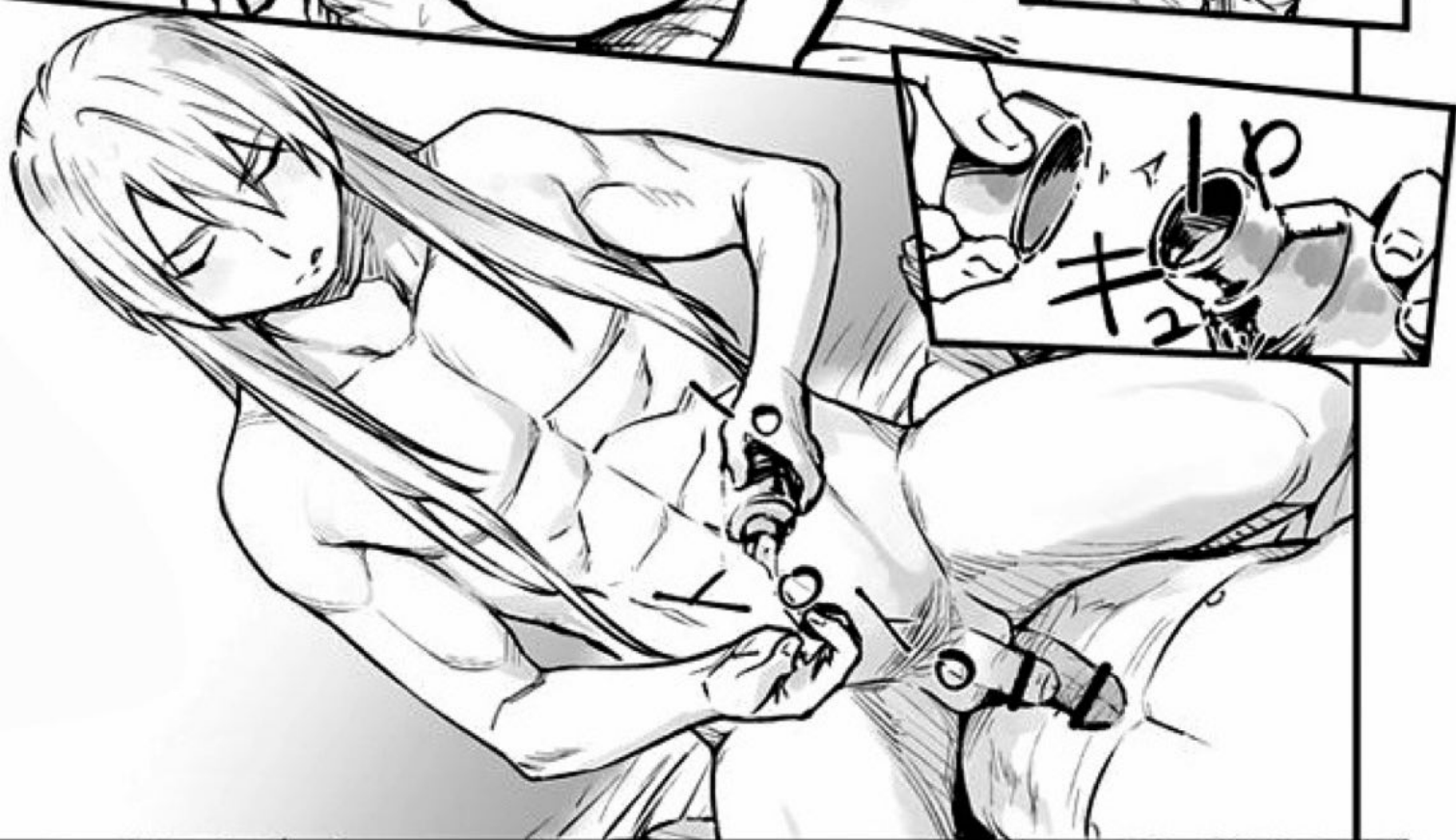






















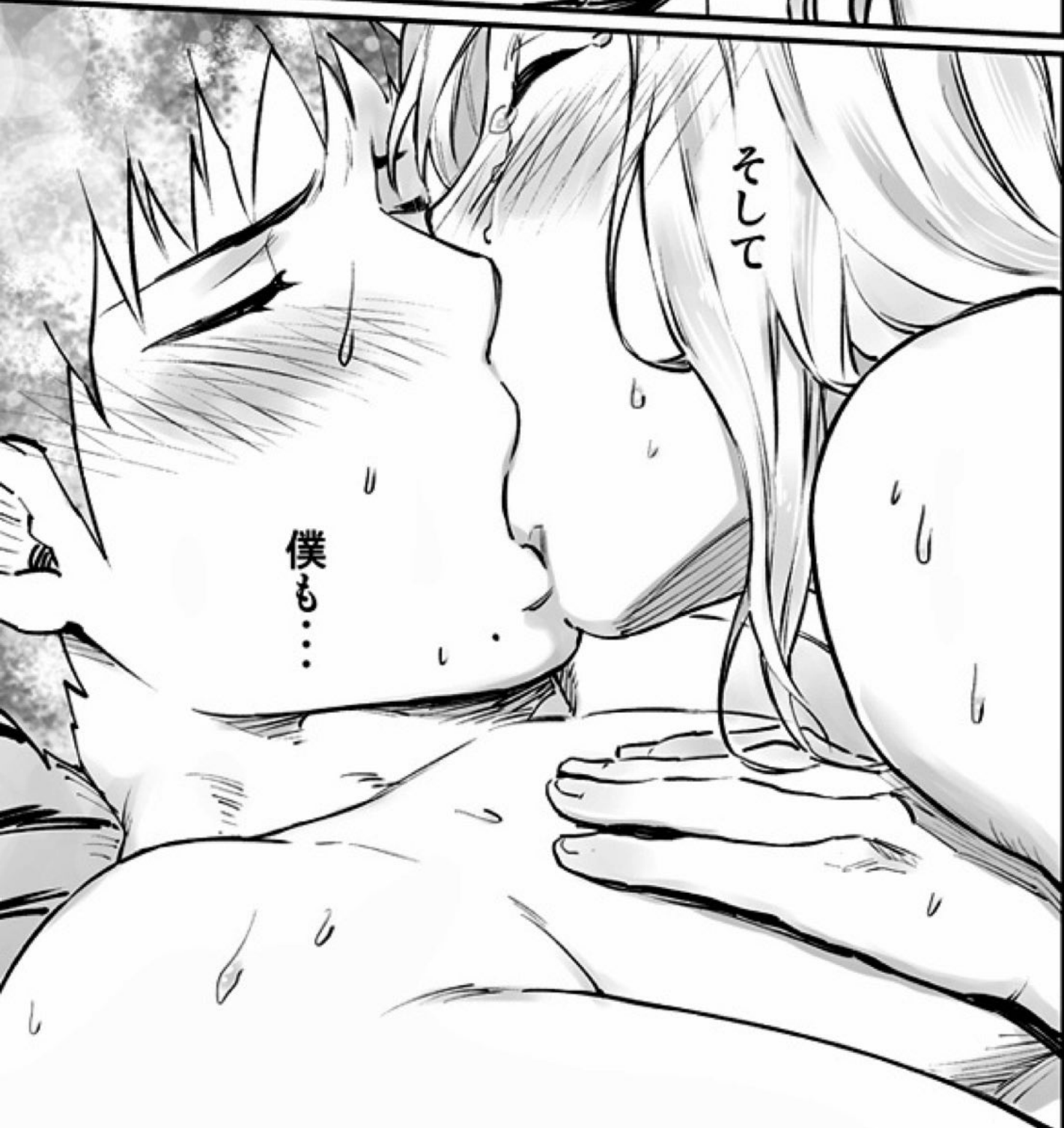
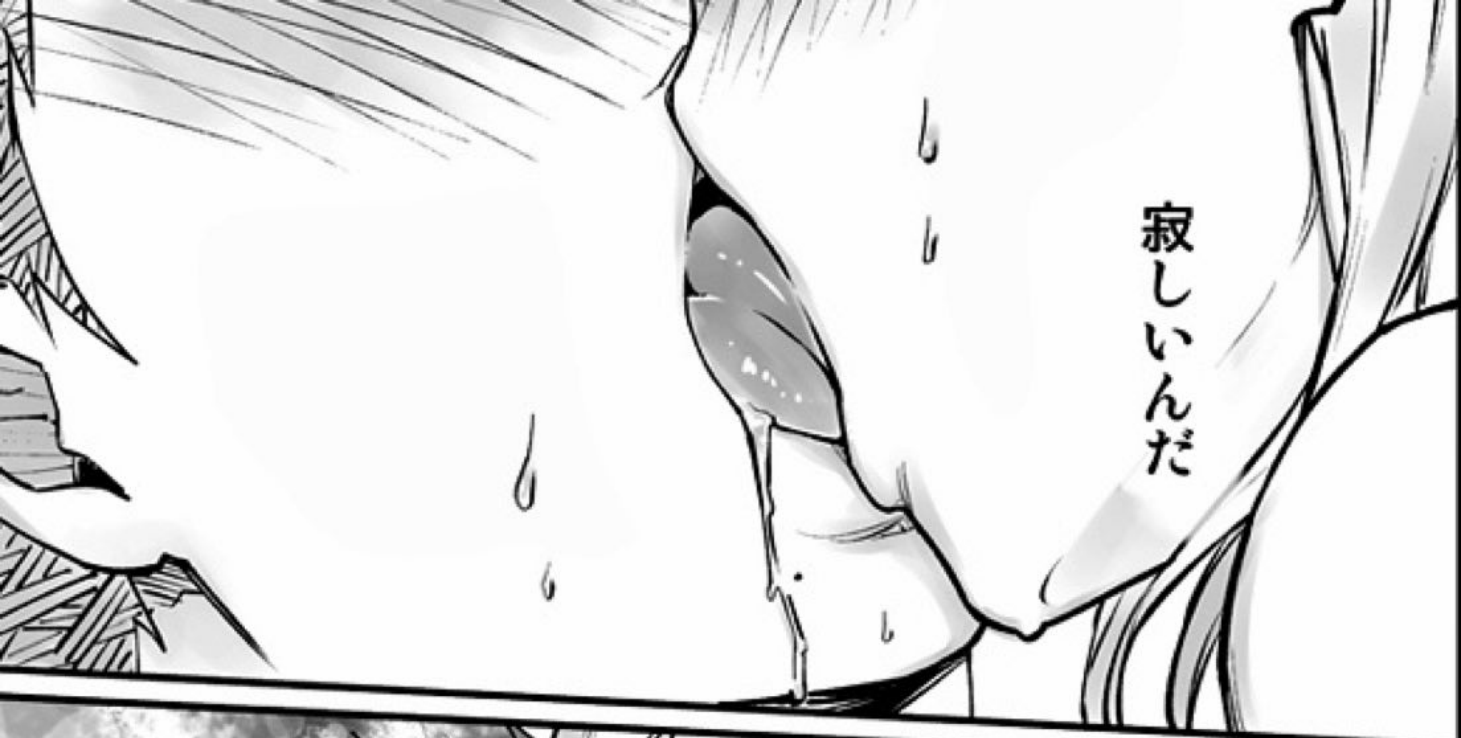
そんな!















カッ

カッ

ドン

ドン

ドン

ドン

ドン

ドン

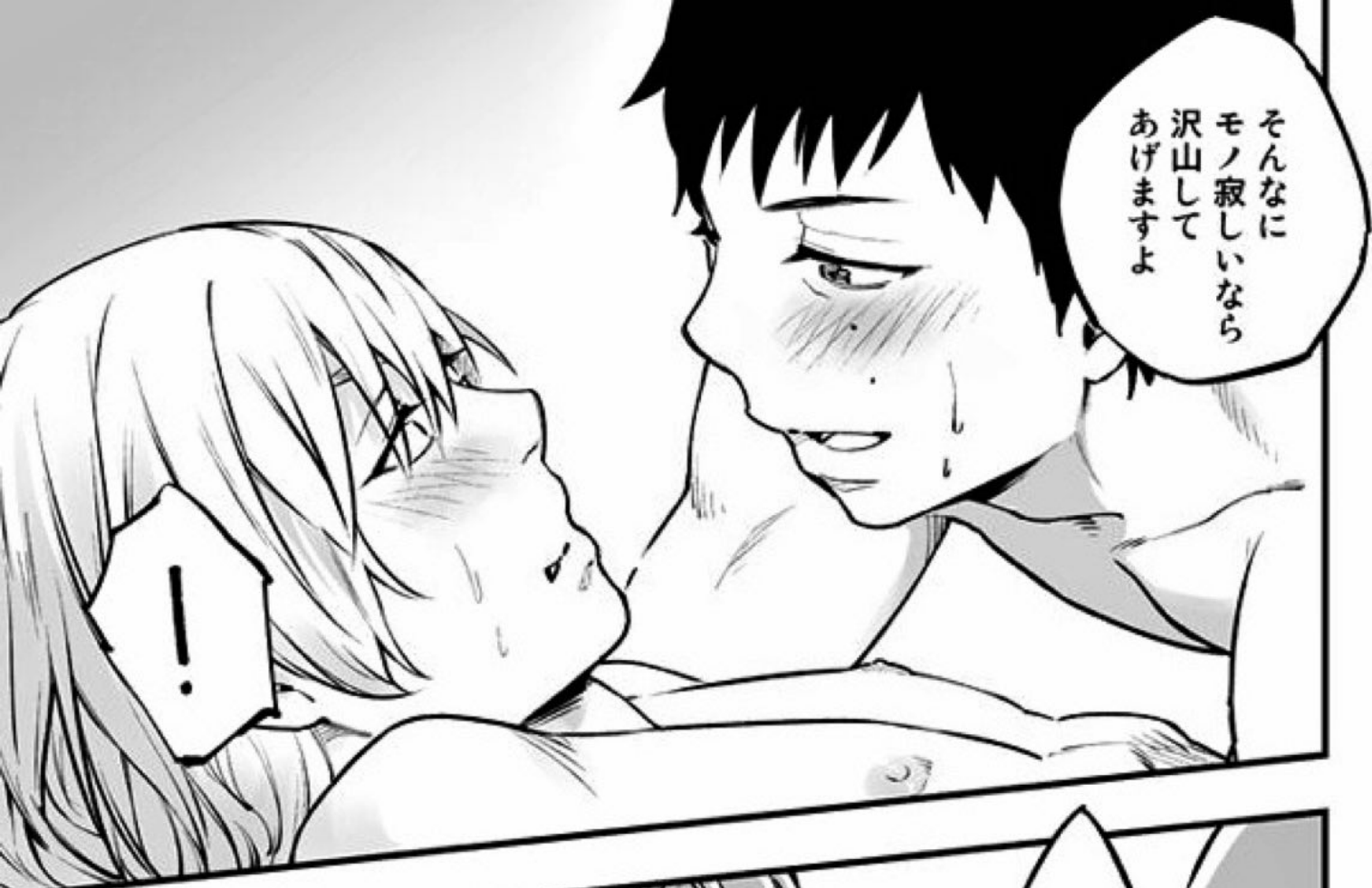
ドン

ドン















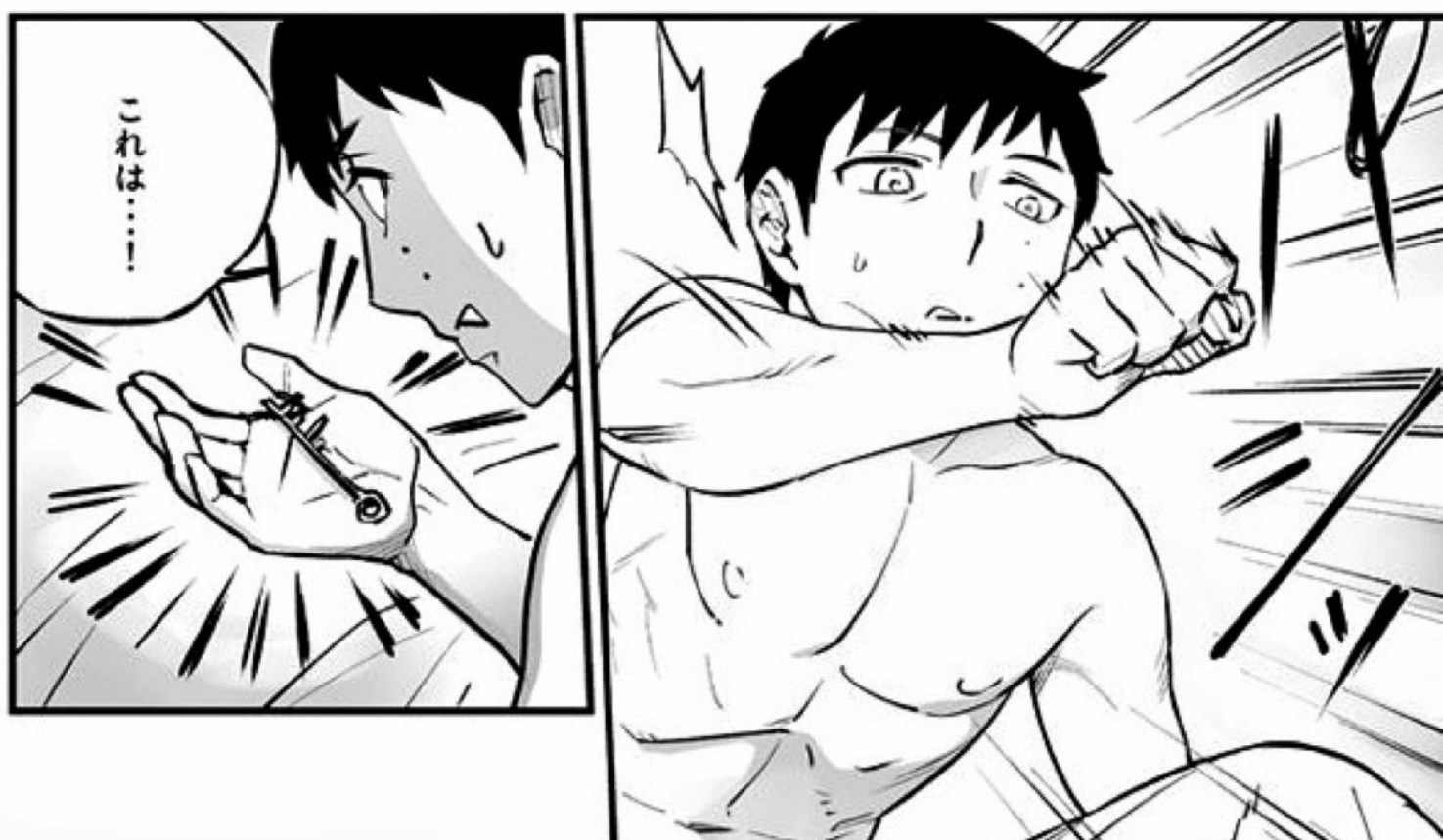
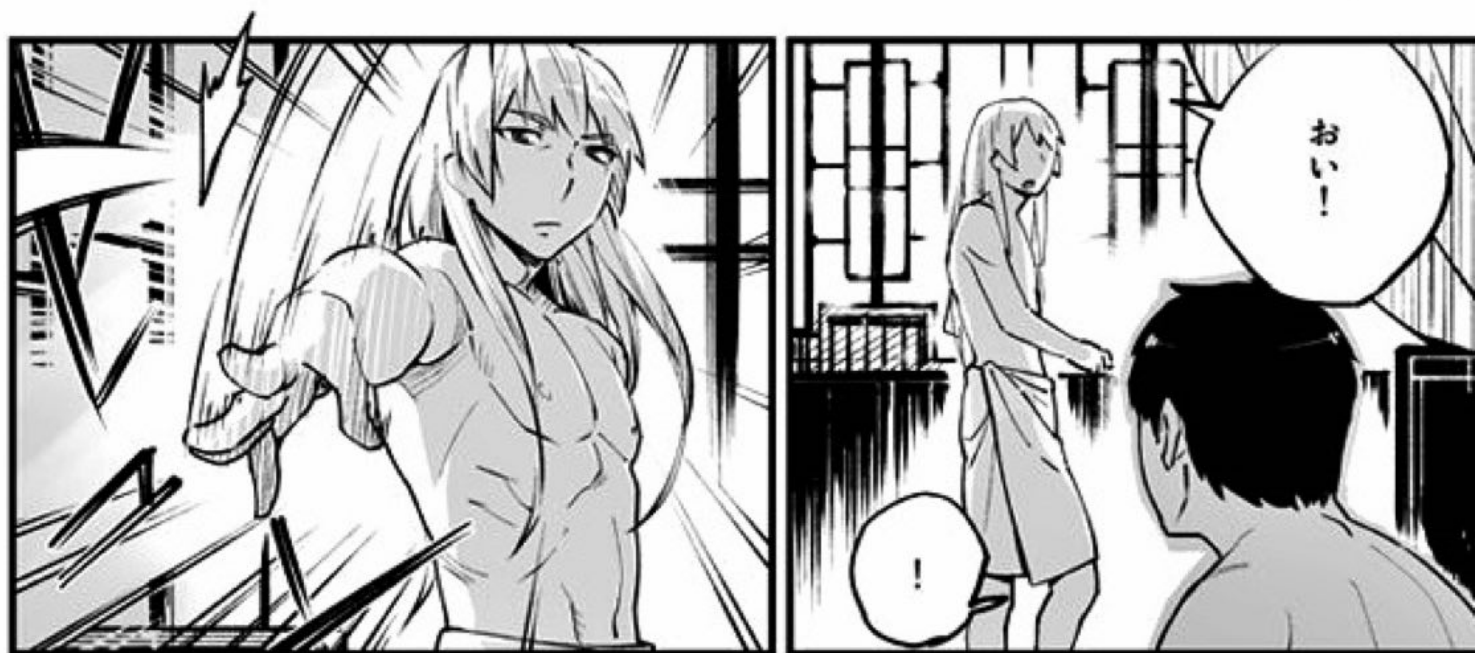


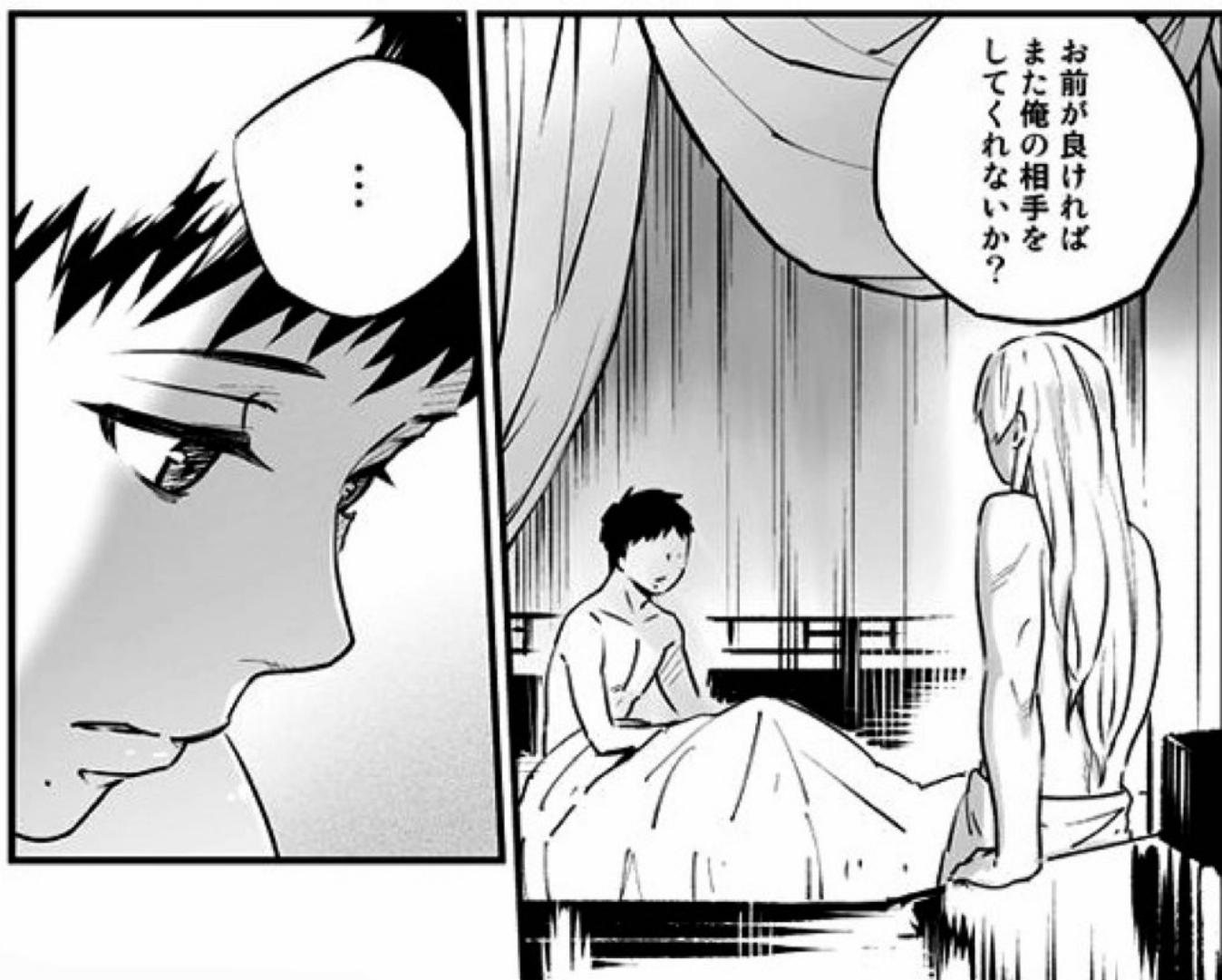










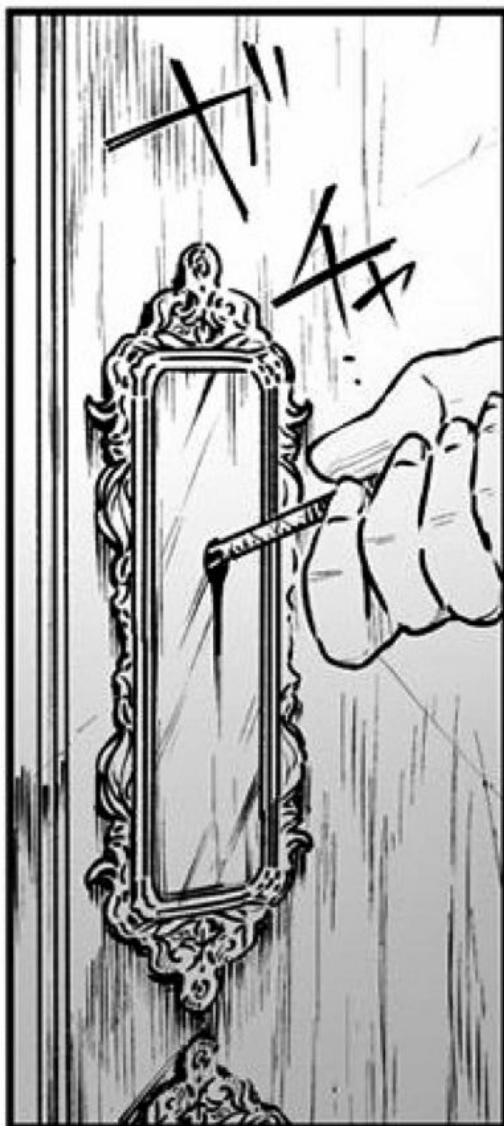
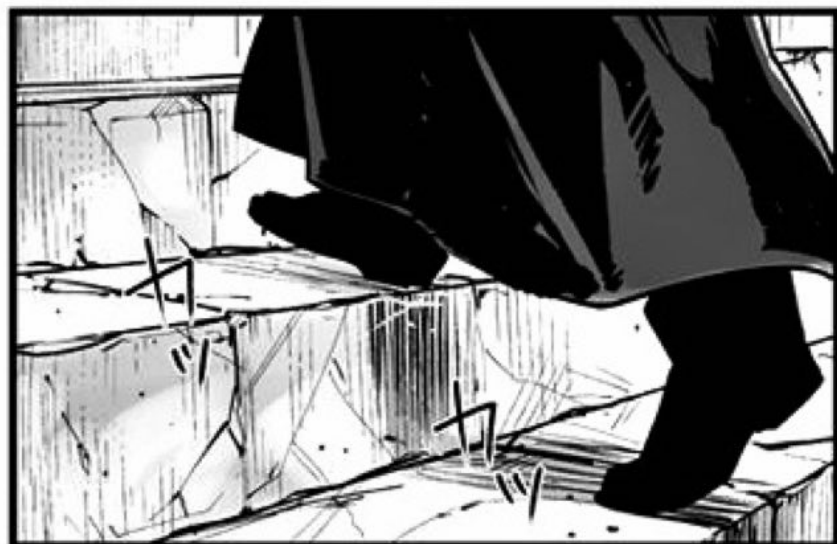












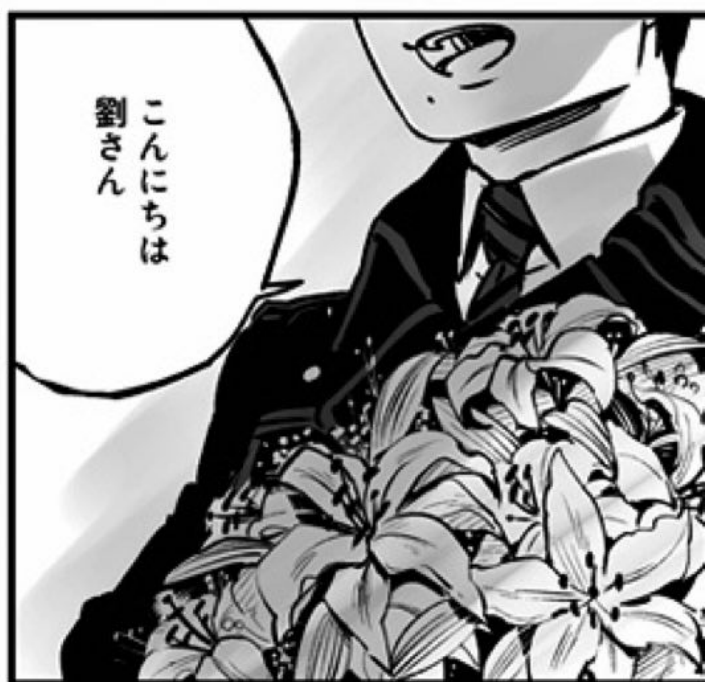
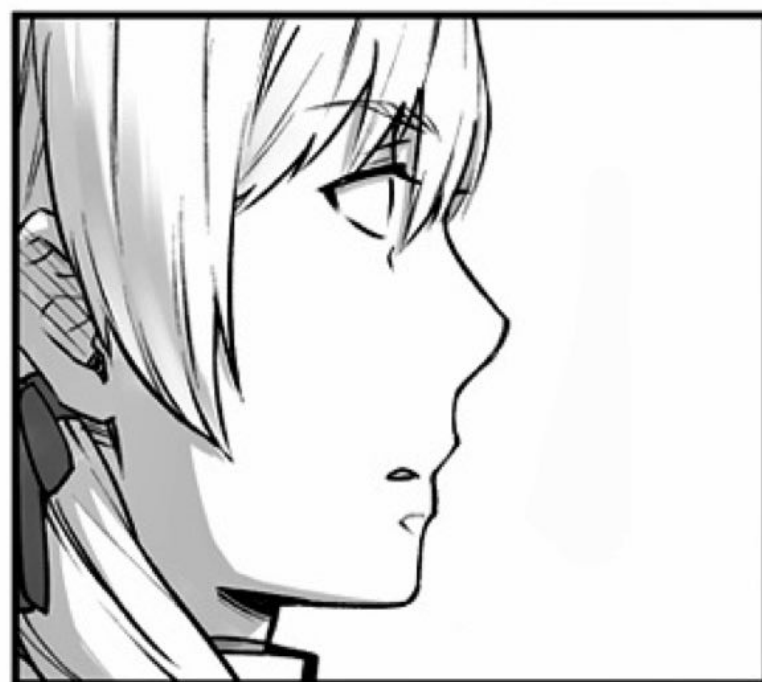
失礼します



...



成龍様
奥村雪男様が
お見えになり
ました







昔兄と二人で
傷を負った
スズメを
保護したことが
あるんです



不慣れながらも
兄と一緒に
あの手この手と
手当したんですが

残念ながら
死んでしまっ
たんです

僕は絶対
助けられるって
信じてた

でも死んでしまった
凄く悲しかったし
悔しかった

ワンワン
泣きました



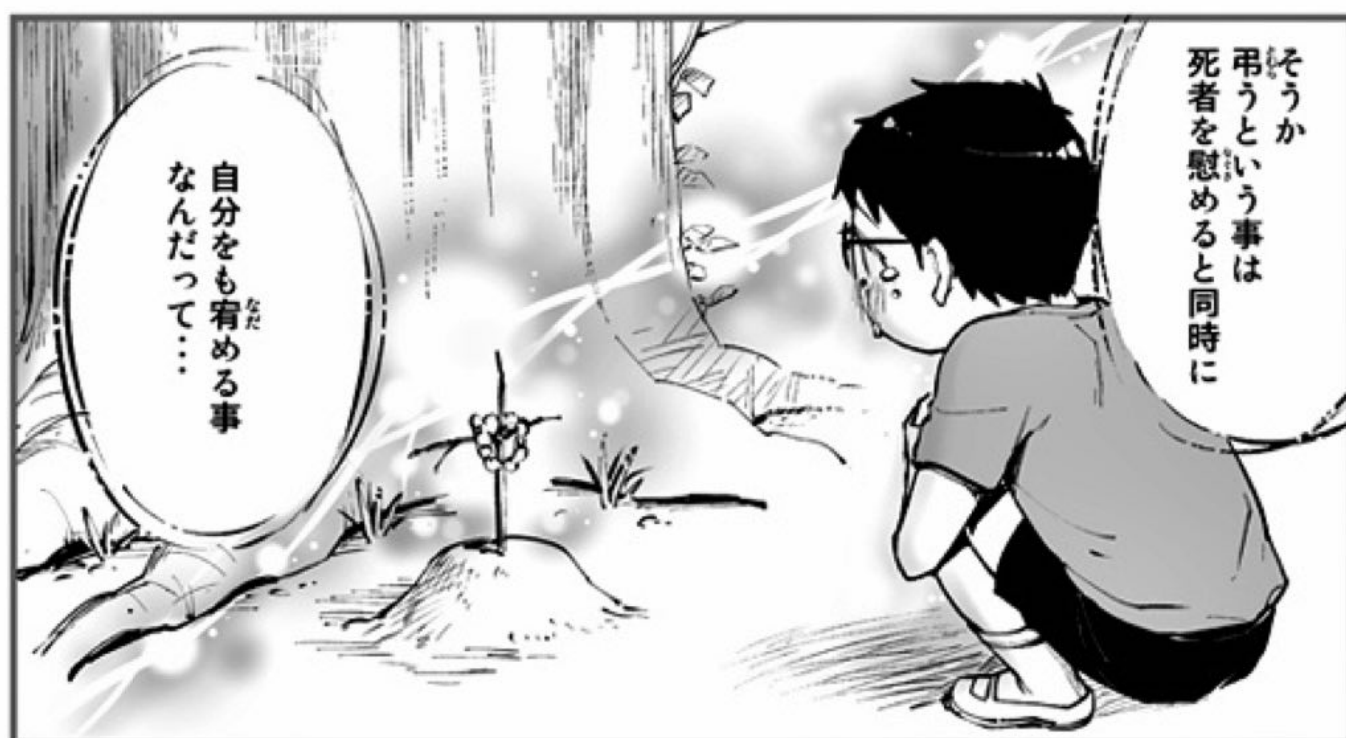
そしたら兄が

お墓作って
あげようって



おねぞり
くだしやい

サボラガニ





まあ兄はスズメが
死んでしまったので
単純にお墓を
作ろうって
言っただけ
なんだと
思いますけどね



昔から兄さんには
変なところで
助けられると
いうか
なんていうか



ふん
アイツ
らしいな...



純粋な人
なんだと
思います



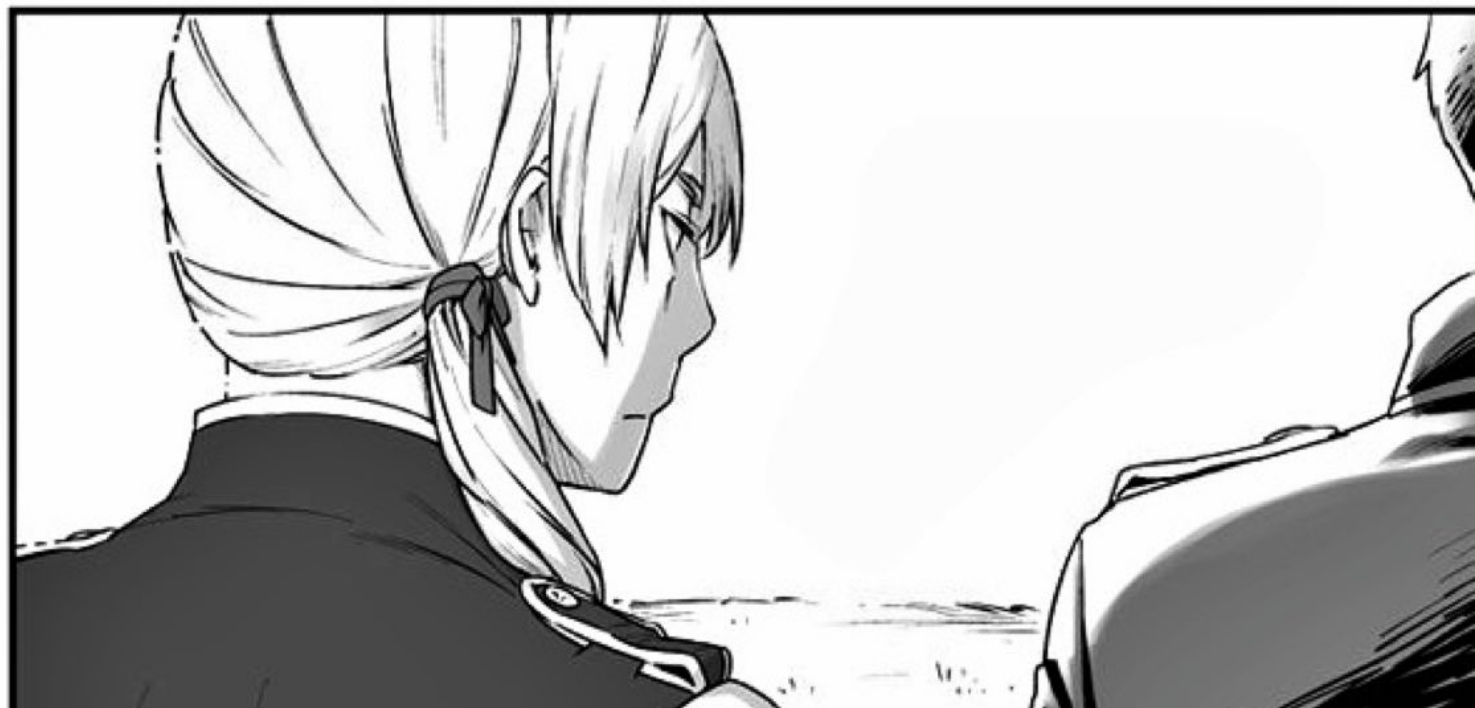
正直羨ましいって
思うけれど
兄のように単純には
成れないし

僕は僕なりの
やり方でしか
悪魔と対峙
出来ない



それは
間違っでは
いないし

これからも
貫き通そうって
思ったんです





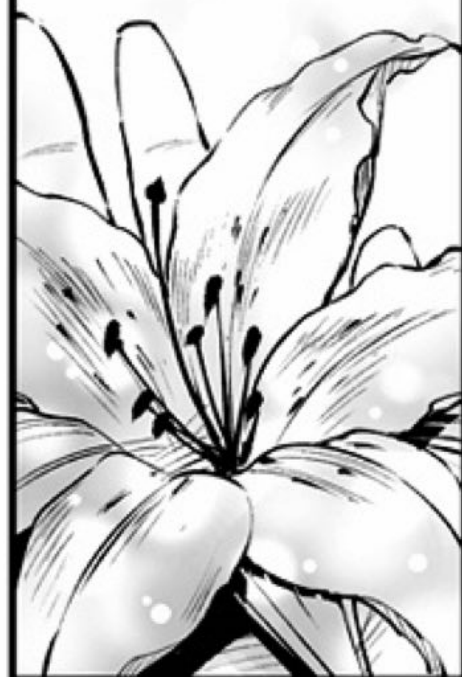
劉さん
トモダチと
お別れを
しましょう



フッ



花束持って
突然現れたと
思えば...





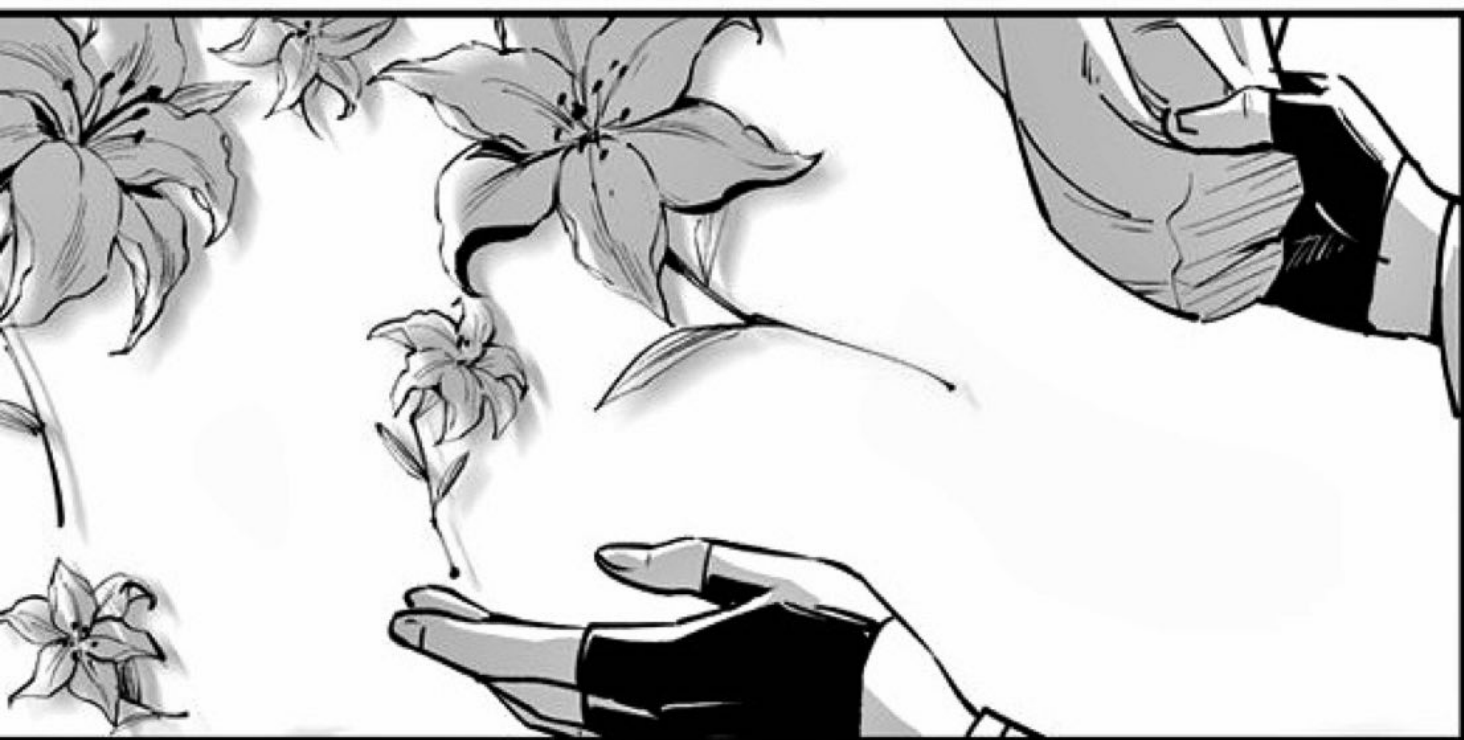
お前の事
信じる事も

助ける事も
出来なくて



すまなかった

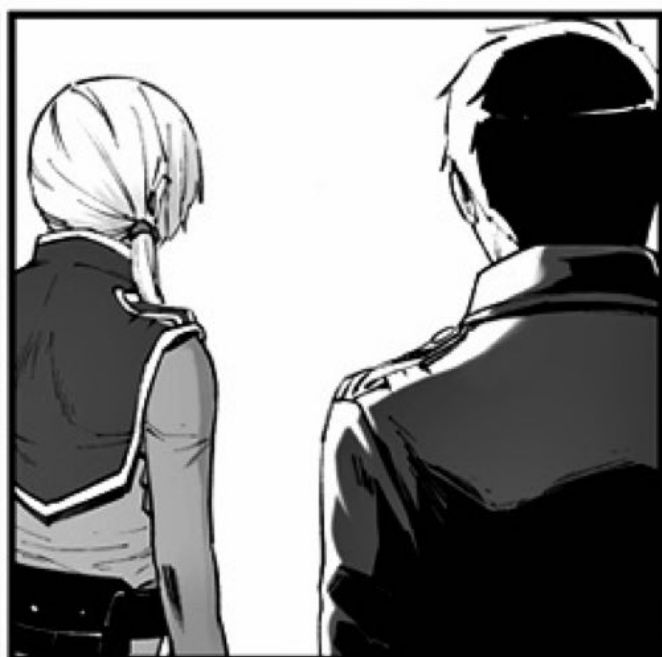






お別れだ…







なっ



どうした？
人肌恋しい
ときはいつでも
相手するぞ



何言ってる
んですか！
もう
行きませんよ！



照れて
ません！

なんだ
照れて
るのか？
照れる
必要なんて
無いぞ

